

教育目標 ◎自分で深く考える子 ◎思いやりをもって助け合う子 ◎がんばってやりとげる子



～一人一人が輝き、幸せな学校～

佐々木小

令和7年11月28日  
新発田市立佐々木小学校  
学校だより 第16号

## 新発田市小学校音楽交歓会



### 響かせる！

ひたすら指揮者を見つめる瞳。みんなの気持ちはひとつです。歌は、歌う全員の気持ちがひとつにならなければ、美しい響きになりません。

その瞬間、大きな会場いっぱいに美しい歌声が響き渡ります。聞く人みんなが感動したことでしょう。

気持ちがひとつになれたのも、ずっとずっと練習してきたからです。努力してきたからです。みんなで励まし合ってきたからです。

大きな拍手に包まれて、やり遂げた幸せが実感できた発表でした！

## 慌てない師走

校長 金平 弘之郎

2 学期もあと一月になりました。そして、2025 年もあと一月で終わりです。2 学期やこの 1 年の長さを皆さんはどう感じるのでしょうか。長かったと感じる方、あっという間と感じる方、それぞれいらっしゃると思いますが、どちらかと言うと、あっという間と感じる方が多いのではないのでしょうか。

時間の感じ方については、様々な説があります。その一つに、子どもと大人の時間の感じ方の違いが言われています。子どもは、初めて経験することに遭遇することが多いから毎日が新鮮です。一方、年齢を重ねた大人は、新しい経験が乏しくなり、新鮮さが無い単調な毎日になってしまうことが多いです。子どもと大人、新鮮さで 1 日の重みが変わってしまい、時間の経過の感じ方に差が出てしまうと言う説です

そうであれば新鮮な毎日を送る子どもたちは、私たち大人と違い、時間がたっぷりあると感じているのではないのでしょうか。それゆえに大人の感覚で、子どもたちに発破をかけてあせらせても、子どもたちにはあまり響かないのかもしれないかもしれません。私たち大人が、時間が無い、忙しいと、子どもに気を急いでしまう時こそ、一息ついて、じっくり、たっぷりと余裕を持たせて日々の生活や学習に望ませることが大切なのだと思います。

この 12 月、師走と言われる時期だからこそ、私教師も「焦らなくてもいいよ!」「じっくり取り組もうね!」「丁寧にね!」などと声掛けしながら、子どもたちの成長をおおらかに見守りつつ、指導していきます。師走こそ、慌てず、慎重に。

2026 年までのあと一月、子どもたちに 2 学期のことを振り返らせ、そして希望に満ちた新年を迎えられるように支えていきたいと思います。インフルエンザが心配でもありますが、充実した 12 月になることを願っています。